

子ども学の

ひろば

お便り

POST

● 遺志を引き継ぎます。 追悼 石井アユ先生 ●

4月2日朝2時半ごろ、八分咲きの桜の下、佐賀の高木瀬幼稚園の石井アユ先生が亡くなりました。まだ70代でした。

石井アユ先生は、佐賀の遊びを大切にしている保育を支えてきた方です。「幼稚園と小学校の集まりで私が発言すると「女はあと、幼稚園はあと」って言われたのよ」とおっしゃっていました。そんな時代を闘ってきてくださったのですね。目に見えることができるばかりを大切にしている幼稚園が繁栄する昨今を嘆いておられました。突然副園長になって佐賀に来た私をいつもにこにこで見守ってくださいました。

その明け方4時、私は肩をトントンとたたかかれた夢を見ました。石井先生が「佐賀の保育はあなたに頼んだわよ」とおっしゃったような気がしています。こうやって「保育の心」は引き継がれていくのですね。

(佐賀大学文化教育学部附属幼稚園副園長 庄籠道子)

お茶の水女子大学 ECCELL 社会人プログラム 「変革期の乳幼児教育・保育を考える」 平成24年度 後学期 (10月開講) 受講生募集

現職保育者をはじめ保育・幼児教育や子どもにかかわるすべての方々を対象に、豊かな学びを実現するためのカリキュラムを夜間(18:20～19:50)に開講しています(科目等履修生登録)。

【開講科目】

「コミュニティ保育資源の活用 II」

(火・担当 多田千尋)

「乳幼児発達障害論 II」 (水・担当 榊原洋一)

「現代保育課題研究 IV」 (木・担当 浜口順子)

「子ども理解と保育の探求 II」 (金・担当 未定)

「乳幼児保育マネージメント II」

(春期中講義・担当 未定)

「比較保育実践研究 II」

(1/12, 13, 26・担当 星三和子)

【出願期間】平成24年7月23日(月)～27日(金)

【URL】<http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji>

【Eメール】nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

【TEL & FAX】03-5978-5949 (安治)

絵本の紹介 『クマのあたりまえ』 魚住直子 ポプラ社 2011年

「生きていること」「生きること」にそれぞれの仕方でも向き合うことになる生き物たちを主人公にした7編。死ななくてもすむものになろうとした表題のクマの話も少し切なくて温かいが、身を挺して少女を助けようとした殺し屋のへびの話、美を理解するのは生きているからと教えられた、身も心も飢えていたライオンの話など、どれもさりげなく胸に沁みる。(K)

絵本の紹介 『ねんどの神さま』 那須正幹 作/武田美穂 絵 ポプラ社 1993年

兵器会社の社長になった男のもとに怪物がやってくる。それはかつて小学生の男の子が戦争を憎んで作ったねんどの人形が巨大化した姿だった……。那須や武田の作品をこよなく愛したある小学生の少年は、二人の作品を片っ端から読んでいて、この絵本にも出会ってしまった。愉快で温かい那須や武田の作品のイメージはここにはまったくない。読み終えて少年は、怒ったような泣いたような顔で深く困っていた。(K)